

**「第1回 ケニア総選挙に向けた
ナイロビ邦人安全対策連絡協議会」**

日 時 平成29年6月23日（金）
15:30～16:30

会 場 在ケニア日本国大使館・大会議室

【次第】

1. 開会のあいさつ
2. 選挙治安情勢について
3. 安全対策について
4. 各種訓練のお願い
5. 質疑応答

～ケニア日本人会・在ケニア日本国大使館 共催～

第1回ケニア総選挙に向けた安全対策連絡協議会
－選挙に向けた情勢－

在ケニア日本大使館
2017年6月23日

1. 選挙までの日程

- (1) 6月23日(金): 各党による立候補者リストの独立選挙委員会(IEBC)への提出
- (2) 日程不明: 全立候補者の発表
- (3) 7月10日(月): 有権者登録情報の公表
- (4) 7月10日(月): 第1回大統領候補者による公開討論(於: Catholic University of East Africa, Karen)
- (5) 7月17日(月): 第1回副大統領候補者による公開討論(於: 同上)
- (6) 7月24日(月): 第2回大統領候補者による公開討論(於: 同上)
- (7) 8月5日(土): 選挙活動期間終了
- (8) 9月12日(火): 大統領就任式(最速8月29日であるが、ずれこむ可能性大)

2. 与野党の動向

- (1) 6月23日:
 - ア 与党: キトゥイ郡及びマクエニ郡
 - イ NASA: ブンゴマ郡
- (2) 6月24日:
 - ア 与党: メルー郡
 - イ NASA: ヴィヒガ郡
- (3) 6月25日:
 - ア 与党: ヴィヒガ郡
 - イ NASA: ブシア郡
- (4) 6月27日(火): NASAの公約発表(於: Race Course Grounds)
※ジュビリー党の公約発表時期不明

3. 大統領候補者支持率(世論調査結果):

ケニヤッタ大統領47%、オディンガ前首相42%、未定・未回答11%

※Ipsos Synovate社が5月11日～23日にかけて2,026名を対象に46郡において実施。

4. 投票手順

5. ナイロビにおける主要政党本部所在地

6. ホットスポット情報

#Yvote   

August 8th, 2017

Polling stations are open 6:00am until 5:00pm.

Voting is simple and easy. Here are a few steps to guide you through the process.

1. On Election Day, carry your National ID or passport (whichever you registered with) to your polling station.
2. A clerk will verify your details and check your finger prints.
3. You will be issued with six different colored ballot papers for each office.
4. Go to the voting booth and mark your ballot papers. Place one mark on inside the box next to the candidate you want to vote for.
5. Once you have marked your 6 ballot papers, match each ballot with its colour coded box.
6. Get your finger inked and leave the polling station.

Only 700 people are assigned per polling station this election, so no long queues.

Consider voting with a friend after the morning rush.

Twendeni tukavote



On August 8th 2017, all registered Kenyans will have the opportunity to elect leaders
Make sure you vote, peacefully!

Message brought to you by:

**Your Vote
Your Future**



主要政党本部所在地

[政党本部所在地 地図へのリンク](#)

Jubilee Party

Jubilee House, Pangani Interchange, Exit 3, Thika Road,

Orange Democratic Movement Party (ODM)

Orange House, Menelik Road, Kilimani Area, Nairobi.

FORD Kenya

Simba House, Riara Road, Nairobi

Amani National Congress

Amani House, Loyangalani Drive, Off James Gichuru Road, Lavington

Wiper Democratic Movement Kenya (WDM-K)

Wiper House, 408 Othaya Road, off Gitanga Road, Nairobi

Chama Cha Mashinani (CCM)

Delta Corner 9th Floor, Westlands

Maendeleo Chap Chap

Maendeleo Chap Chap HQ House 38, Convent Road

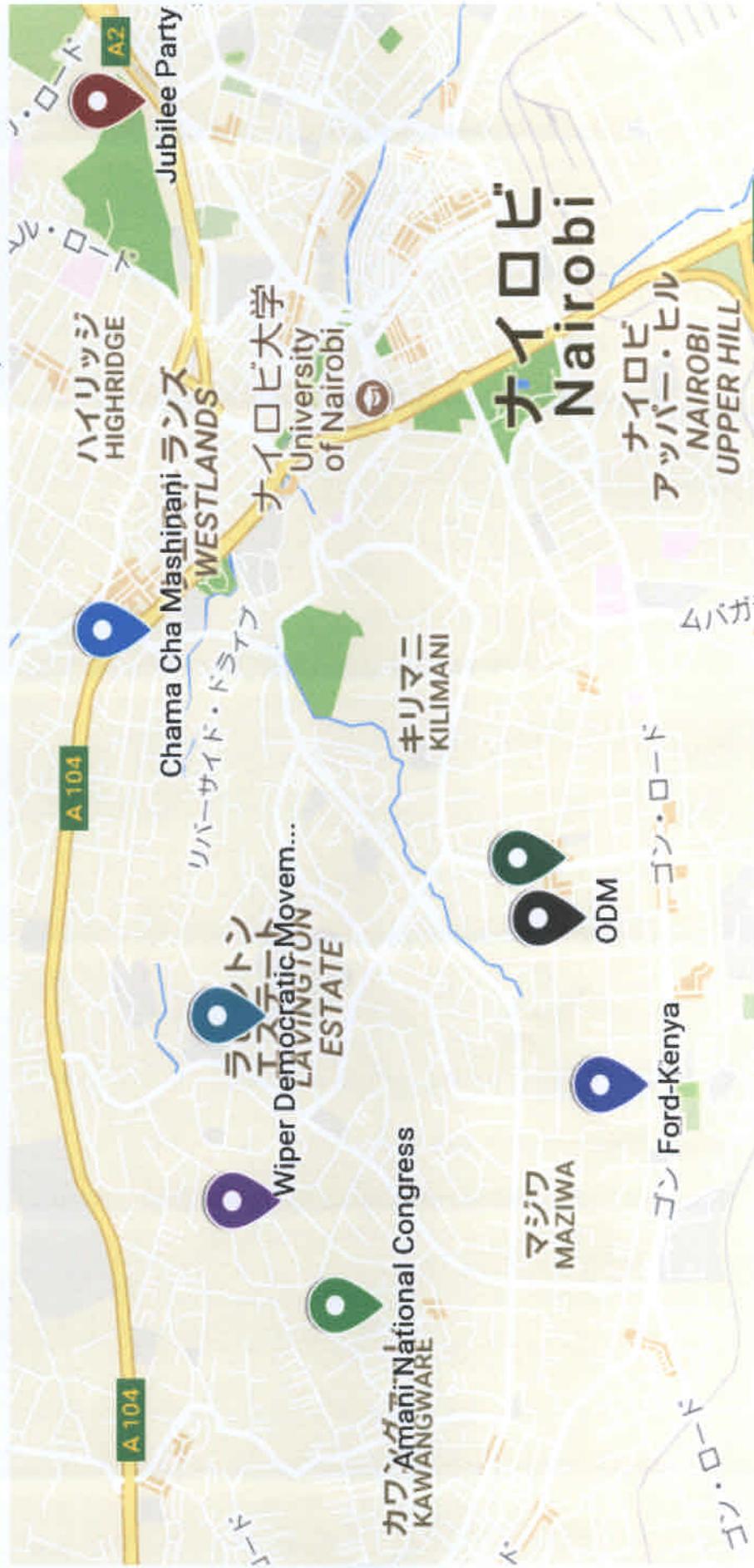
Kenya African National Union [KANU]

KANU headquarters, Chania Avenue-Off Ringroad, Kilimani, Behind Yaya Centre

Political Parties In Kenya

-  Jubilee Party
-  ODM
-  Ford-Kenya
-  Amani National Congress
-  Wiper Democratic Movement
-  KANU
-  Chama Cha Mashinani

主要政党本部所在地



平成29年6月23日
領事警備班

「ケニア総選挙に向けた安全対策」

1. 情報発信

- (1) スポット情報
- (2) 領事メール
- (3) 緊急SMS
- (4) ホームページ

2. 「ナイロビ邦人安全対策連絡会」、「同協議会」の開催

(1) 安全対策連絡会

- ア 日程：7月15日（土）、8月5日（土）
午前9時30分～午前11時、 広報文化センターホール
- イ 対象：全ての在留邦人

(2) 安全対策連絡協議会

- ア 日程：2週間に1回開催
6月23日（金）、7月7日（金）、7月21日（金）、8月18日（金）
午後3時30分～午後4時30分、当館大会議室
- イ 対象：8団体代表者、大使館
①日本人会、②商工会、③JICA、④ジェトロ、⑤旅行団体、
⑥日本人学校、⑦国際機関、⑧長崎大学

3. 「安全の手引き」

- (1) 内容
別紙1のとおり
- (2) 目的
在留邦人が一目で、「ケニア選挙日程」、「備蓄リスト」、「警戒区分における在留邦人の行動基準」、「基本姿勢」を確認できるようにするため。
- (3) 在留邦人への共有
当館ホームページと領事メールで、共有予定。

4. 警戒区分における在留邦人の行動基準

別紙2のとおり。

以上

ケニア総選挙における 緊急事態発生に備えた 安全の手引き (2017年6月現在)



【ケニア総選挙】

- 選挙運動期間：5/28～8/5
- 投票日：8/8
- 公式結果発表：8/15まで
- 新大統領就任式：8/29
(9月、10月に、ずれ込む可能性あり)

在ケニア日本国大使館
住所 Mara Road, Upper Hill, Nairobi,
Kenya

電話 +254-(0)20-2898000
FAX +254-(0)20-2898220

ホームページ

<http://www.ke.emb-japan.go.jp/>
たびレジ
<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

☆ 平時に準備しておくこと

1 旅券・在留届

- 旅券は、6か月以上の残存有効期間があるか確認して下さい。(6か月以下の方は、在ケニア大使館に対して旅券切替発給を申請して下さい。)
- 旅券の最終頁の「所持人記入欄」は漏れなく記載して下さい。空欄に血液型も記入して下さい。
- 在留届出や外務省「たびレジ」登録を確実に行って下さい。緊急事態が発生した場合、緊急一斉通報によるメールなど、安全に関する情報を自動的に大使館から受け取ることができます。

2 現金、クレジットカード

- 現金、クレジットカード、その他身分証明書を旅券とともに、すぐに持ち出せるよう保管して下さい。
- 現金は、家族全員が10日間程度生活できる米ドル及びケニアシリングを準備して下さい。

3 携帯電話

- 平素から携帯電話をフル充電して下さい。
- 十分なクレジットカードを確保して下さい。携帯電話のスクラッチカードを余分に確保して下さい。
- 携帯電話を肌身離さず携帯して下さい。

4 自動車

- 緊急時、自動車を利用することを想定して、常にガソリンを十分に入れ、地図等を常備して下さい。
- 自動車の故障がないように、平素から点検・整備を励行して下さい。

5 備蓄

水・食料品(冷蔵庫で保存を要しない食料)を家族の人数×10日間分程度備蓄して下さい。

備蓄品例

- 飲料水：1人当たり1日3リットル
- 主食：米、パスタ、麺類等
- スナードル等インスタント食品
- 缶詰等

トイレ、洗い物用としての水を確保して下さい。停電になると、水が使えない場合があるので、風呂やポリ容器等に水を保管して下さい。

6 医薬・衛生品

- 必要な医薬品や生理用品等を準備して下さい。
- 乳幼児関連物資(ミルク、オムツ等)を準備して下さい。
- 毛布・寝袋等の寝具、衣料品、トイレット・ペーパー等が十分にあるか確認して下さい。

7 生活用品

- ライター、マッチ、ろうそく、懐中電灯があるか確認して下さい。
- ラジオと予備電池を準備して下さい。
- 万能ナイフ、缶切り、調理用ガスの予備ボンベ等を準備して下さい。

8 緊急事態時の持ち出し携行品

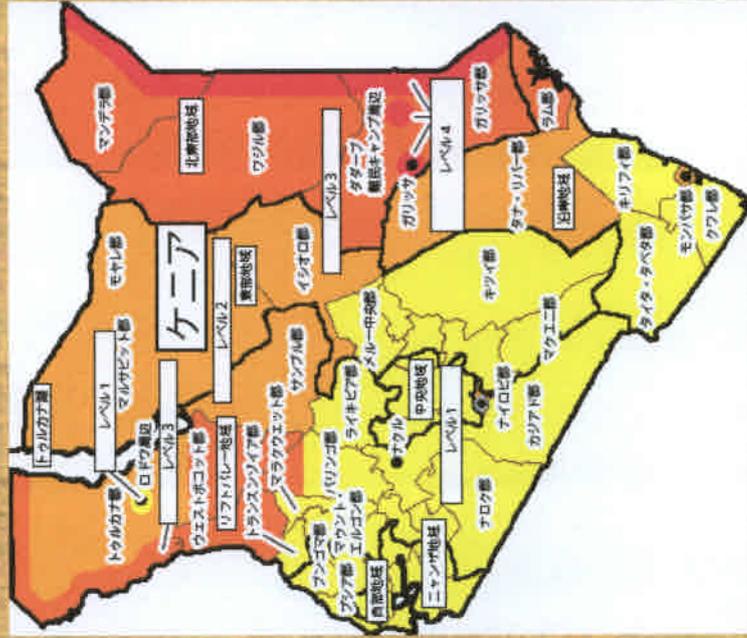
- 旅券
- 現金 ※ケニアシリングと米ドル
- クレジットカード・キャッシュカード
- その他身分証明書

☆ 基本姿勢

- 暴動が発生したら、自宅待機が基本。
- 自分の身は自分で守る。
- 新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から最新の情報を入手する。
- 大使館からの領事メール、緊急SMS、ホームページを随時チェックし、行動の指針とする。
- 有事に備えて、平時のうちから備蓄等の準備を確実に行う。
- 集会やデモが行われている場所には近付かない。
- スラムに近付かない。
- 選挙当日や、一部地域での暴動発生時は、全域で警察力が手薄になるので、強盗等の増加に警戒し、車に乗車している際もドアは確実に施錠し、自宅施錠も徹底する。
- 外出する際は、家族に行き先地を告げるとともに、徒歩での外出を極力避ける。
- スリや強盗被害を避けるため、マトツ（乗り合いバス）に乗らない。
- 選挙の混乱に乗じて、テロが発生するおそれがあることから、買い物は、混み合う時間帯を避ける。
- 不審な人物を発見した時は、速やかにその場から離れる。
- 爆発音・銃撃音を聞いたら・・・
 - ・伏せる→逃げる。
 - ・伏せる→身を隠す→逃げる
- テロ事件現場に近付かない(第2波攻撃のおそれ)。
- テロ事件発生時は、外出を避ける(同時多発テロのおそれ)。
- 大使館からの安否確認に速やかに回答する。

☆ 暴動に巻き込まれたら・・・

- 「自分の命以上に大事なものはなし」と肝に銘じ、絶対に暴徒や犯人に抵抗しない。
- 速やかに現場から離脱する。
- 犯罪被害やデモに巻き込まれ被害を受けた場合は、速やかに大使館に連絡する。



ケニア危険情報マップ

☆ 行動基準

在ケニア大使館は、邦人の皆様に対して、領事メールやホームページ等で、下記の行動基準を示します。

【レベル1：十分注意】

(情勢) 平和的なデモ・集会 (対応) 各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い、情勢の把握に努める。

【レベル2：不要不急の渡航中止】

(情勢) デモ・集会等での暴力衝突が増加 (対応) 情勢の把握に努め、備蓄品を確保し、緊急時に備える。

【レベル3：渡航中止勧告】

(情勢) 暴力衝突が頻発し、与野党の大規模な衝突等が発生。 (対応) 自主的な国外退避かケニア国内の安全な地域への退避を検討。残留者は、自宅待機を検討。いつでも退避できるよう準備を進める。

【レベル4①：退避勧告】

(情勢) 市民に危害が及び、生命・身体・財産への具体的な危険が存在。 (対応) 外出を控え自宅待機。商用便等による国外退避、残留者は大使館との連絡体制を保持し、大使館及び大使公邸への避難を検討。

【レベル4②：退避勧告】

(情勢) 騒乱・内乱・クーデター等の発生及び外出禁止令が発出。 (対応) 最終残留者は国外への退避体制に移行し、大使館の退避要領等に従い退避する。

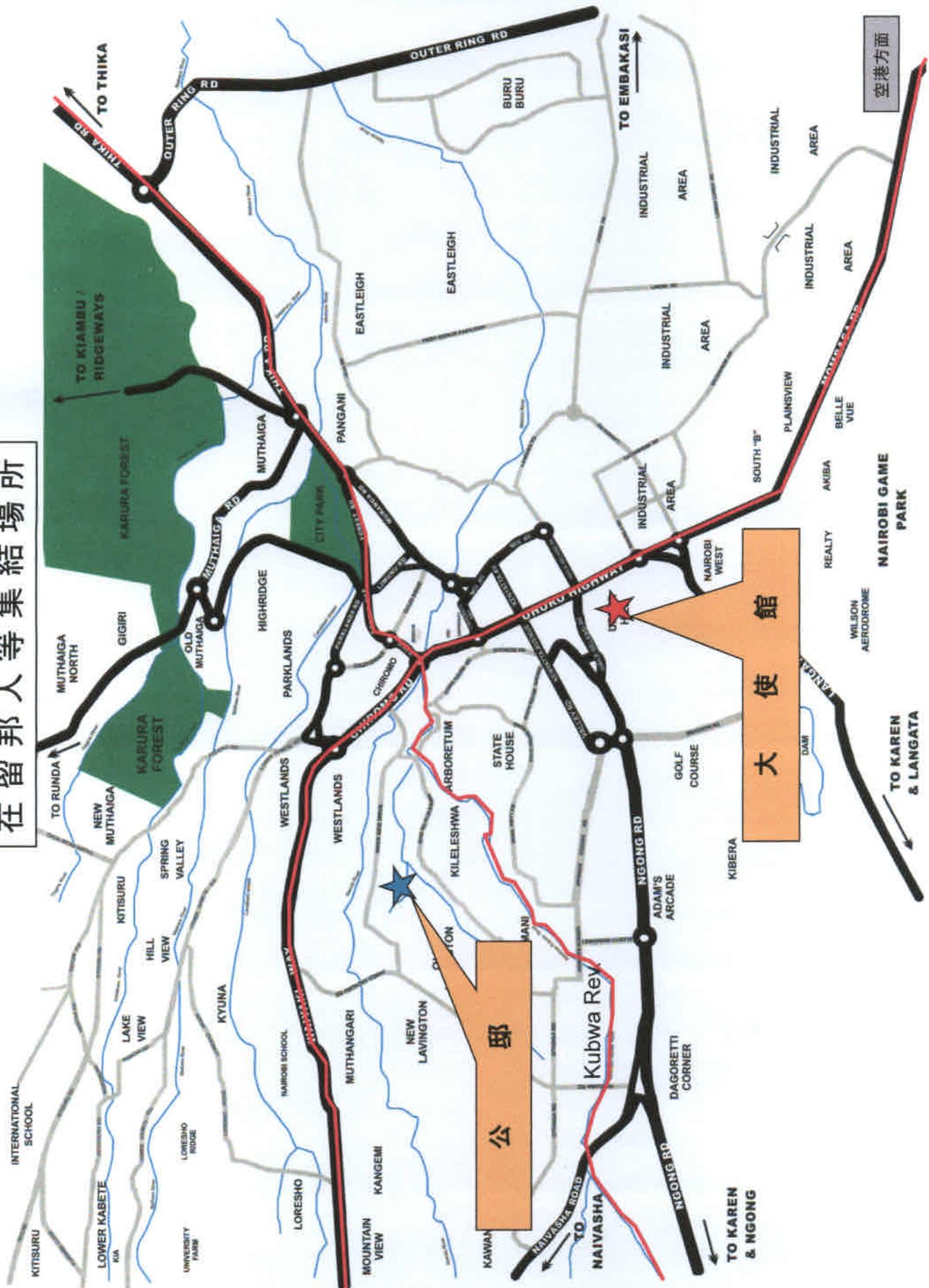
警戒区分における行動基準

警戒区分		想定される状況（例示）	取るべき措置
レベル1	十分注意	与野党支持者間や部族間において、平和的なデモ・集会が行われ、小競り合い程度の暴力事件が発生するものの、他地域やケニア全土に波及する可能性はない。	○各家庭や職場で、新聞やテレビ等の報道から情報収集を行い、情勢の把握に努める。
レベル2	不要不急の渡航中止	与野党支持者間や部族間の暴力事件の発生が目立つようになり、ケニア全土に波及する兆しがある。	○引き続き、情勢の把握に努める。 ○10日間程度、家族全員が過ごすことができる食糧、水、医薬品、燃料等の備蓄を確保するとともに、緊急時に備えて、旅券や現金の準備、車両の整備等を行う。
レベル3	渡航中止勧告 ※在留邦人への 退避勧奨	ケニア全土で、暴力衝突が頻発し、与野党支持者間や部族間の大規模な衝突等が発生する。	○引き続き、情勢の把握に努める。 ○自宅待機を検討し、いつでも退避できるよう準備を進める。 ○国内の安全な地域や国外への自主的な退避を検討する。家族のみでも退避させることを検討する。 ○残留者は、大使館や関係者に対して所在を明確にし、連絡体制を保持する。

警戒区分における行動基準

警戒区分	想定される状況 (例示)	取るべき措置
レベル4 ① 退避勧告 ※在留邦人の退避勧告	与野党支持者間や部族間の衝突が暴動へと発展し、恒常的に市民に危害が及び、生命、身体及び財産への具体的な危険が存在する。	<ul style="list-style-type: none"> ○外出を控え、自宅待機するとともに、事態の把握に努め、状況に応じて直ちに退避できる体制を整える。 ○治安が極度に悪化してきた場合は、予め指定した集結地（大使館・公邸等）へ避難し、身の安全を図るとともに、退避に移行できる体制をとる。 ○その際、緊急事態の持ち出し携行品（旅券、現金、クレジットカード及びその他の身分証明書等）、出国に必要な物、食糧、水、医薬品、燃料等、当面の生活に必要な物も携行する。 ○退避が必要と判断された場合は、在留邦人は予め地域ごとに指定した集結地（大使館・公邸等）に集合し、車列を組み（警察の護衛のもと）、陸路で国外に退避する。商便が運行されれば、空路での脱出も視野に入れる。 ○最終残留者は、大使館や関係者に対して、所在を明確にし、連絡体制を保持する。
レベル4 ② 退避勧告 ※残留邦人・残留館員の退避	騒乱、内乱、クーデター等の発生及び外出禁止令、戒厳令等が発出され、行動規制が敷かれる。死傷者が続出する事態に陥る。	<ul style="list-style-type: none"> ○最終残留者は、国外への退避体制に移り、退避要領に従い、退避を開始する。 ○退避が不可能な場合を想定し、大使館・公邸等における立てこもりを視野にいれた準備を行う。

在留邦人等集結場所



空港方面

大使館

公 邸

Kubwa Rex

INTERNATIONAL SCHOOL

KITSURU

LOWER KABETE KUA

UNIVERSITY FARM

LORESHO

MOUNTAIN VIEW

KANGEMI

NEW LAVINGTON

MUTHANGARI

DAKORETTI CORNER

NGONG RD

ADAM'S ARCADE

KIBERA

TO KAREN & NGONG

TO RUNDA

MUTHAIGA NORTH

GIGIRI

OLDO MUTHAIGA

HIGHRIDGE

PARKLANDS

WESTLANDS

WESTLANDS

CHIROKO

KILELESHWA

ARBORETUM

STATE HOUSE

WANI

NGONG RD

TO KAREN & LANGATA

WILSON AERODROME

REALTY

AKIBA

PLAINSVIEW

BELLE VUE

INDUSTRIAL AREA

INDUSTRIAL AREA

INDUSTRIAL AREA

TO KIAMBU RIDGEWAYS

KARURA FOREST

KARURA FOREST

CITY PARK

PANGANI

EASTLEIGH

EASTLEIGH

BURU BURU

TO EMBAKASI

INDUSTRIAL AREA

INDUSTRIAL AREA